

6月うぶやま天文台星空情報4

月が土星、金星に接近



天空が広がるうぶやまの高原には、爽やかな夏風が吹き始めました。梅雨前で、天候が不順で、くっきり晴れた星空は望めませんが、それでもわずかの晴れ間に期待しましょう。

星空は東から夏の星座が昇り始め、春の星座は西へと沈み始めています。しし座、おとめ座などが次々に西に沈み。変わって、さそり座、こと座、はくちょう座が次々に東の空から昇ってきます。

6月の後半、土星(1.1等級)が夜半頃に東の空に姿を現し、明け方にかけて南東の空へと昇っていきます。2時を過ぎた頃には金星(-4.2等級)も東北東の空に昇り、明るく輝きます。6月19日から6月23日にかけて、月が土星、金星へと近づく様子が見られます。

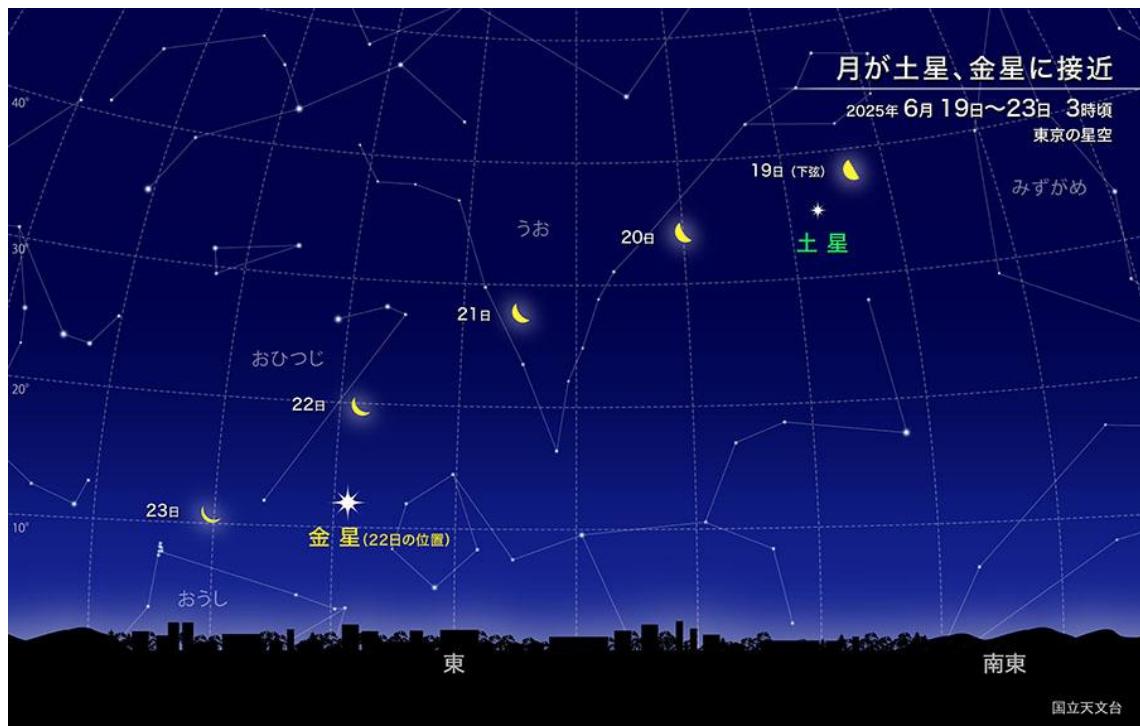
月が土星に最も接近して見えるのは、19日未明(18日深夜過ぎ)です。この日は下弦で、ちょうど半分に欠けた月が土星のそばで輝いている様子が見られます。

日付が進むと月は、25日の新月に向けて徐々に欠けながら東へと位置を変えています。

こうして満月よりかなり細くなった月は、22日から25日にかけて、金星に近づきます。

明けの明星とも呼ばれ強い輝きを見せる金星と、細く輝く月が並ぶ様子は、明け方の東の空で大変目を引く光景になることでしょう。

また、わし座の1等星アルタイル、こと座の1等星ベガ、はくちょう座の1等星デネブを結ぶ夏の大三角、それらを横切る天の川が産山では素晴らしい良く見えます。20時30分頃南中する全天最大の球状星団 ω (オメガ)星団も見頃です。



月が土星、金星に接近



ヘルクレス座の球状星団 M13



こと座のドーナツ星雲 M57



こぎつね座の亜鈴状星



いて座の球状星団 M22



ω (オメガ) 星団